どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 7. 11（月）
No. 13
校長　工藤竜一

【校訓】なかよく　つよく　しんけんに
【学校教育目標】自立する泗水っ子の育成
～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

梅雨明け後も続く前期前半の学校生活…

授業参観の様子（全クラス道徳を行いました）

６月中に梅雨が明け、３５度を超える猛暑日から一転、５日（火）は台風４号の接近により臨時休校を行いました。学校施設や校区内で大きな被害はなく、安心したところです。しかし、熊本県内では、新型コロナ感染者数が急増しており、コロナ感染対策と熱中症予防に努めながら教育活動を行っています。

８日（金）は授業参観、学級懇談を行いました。新型コロナの感染状況をふまえて、各家庭１名までと制限をかけさせていただきました。蒸し暑い廊下からの参観になった保護者もおられたと思います。最後まで熱心に参観いただきありがとうございました。

泗水小学校運営協議会を開催しました！

７月８日（金）の授業参観日に、本年度第２回の学校運営協議会を開催しました。泗水小の学校運営協議会は、１５名の委員さんで組織されています。学校と保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。保護者代表として、ＰＴＡ会長・副会長に委員として参加していただいています。泗水小は、平成１７年に県下で最も早く学校運営協議会が設置された先進校です。

今回は、授業参観及び地域での子どもたちの様子についての感想や、地域と学校が連携して子どもたちを見守り、育てる取組について意見をいただきました。授業参観では、暑い中、子どもたちがしっかり学習に取り組んでいたとお褒めの言葉をいただきました。

本年度は、年間５回の会議を予定しており、次回は１０月７日（金）の予定です。

☆校長室から独り言１１☆

夏休み間近…子どもに親の働く姿を見せていただけたら…

私の子育てを振り返ってみると、息子が生まれてから中学２年の頃まではずっと野球部指導に明け暮れ、土、日曜日はほとんど家を空けていて、妻に任せきりでした。息子の運動会も授業参観も入学式・卒業式もほとんど行ったことがありません。土、日曜日は、平日より早く起きてユニフォームに着替えて、妻と子の寝顔を見ながら家を出る状態でした。妻には本当に助けてもらいました。息子が３～４歳の頃からは、妻がよく息子を連れて野球の試合の応援に来てくれました。そんな時は、野球部員や保護者の皆さんが息子をとても可愛がってくれました。試合の合間に野球部員が息子とキャッチボールをしてくれたり、保護者の方がコンビニに連れて行ってお菓子を買ってくださったり。それで息子は野球が大好きになり、大学まで野球を続けることになりました。

何よりよかったのは、父親である私が野球部監督として働く姿を、毎週のように息子に見せられたことです。県大会の準決勝・決勝に進出したときのことです。水前寺球場でノックをする私の姿を指さして、「あれはぼくのお父さんだよ。ノックが上手でしょう。」と応援に来られた人たちに自慢していたと聞きました。教師として、授業をしている姿を見せることはできませんでしたが、野球部の監督をしている姿はたくさん見せることができました。そのことが、息子の育ちに影響を与え、親をリスペクトすることにもつながったと思います。

お仕事の内容次第では、子どもさんに親の働く姿を見せるというのは難しいかもしれませんが、これから夏休みに入ります。機会があれば、子どもさんに親の働く姿や職場などを見せてあげてください。仕事のお話だけでもいいと思います。子どもさんのこれからの育ちにきっと大きな影響を与え、将来の夢や目標を持つことにつながるのではないでしょうか。いろいろな意味で有意義な夏休みにしていただけたらと思います。